

「JAバンク茨城子ども食堂応援成2023」活動報告書

活動名	子ども支援活動 やさと Atteindre フードパントリー・こども食堂
団体名	子ども支援活動 やさと Atteindre (アタンドル)
この活動で 取り組んだ 地域の課題 や背景(※)	地縁、血縁に頼ってきた石岡市でも、離婚する家庭が多くなり、生活に余裕がない家庭が増えている。農産物が豊富な八郷地区においても「家に食べものがない」と訴える子どもがいる。市内に子育て家庭を対象とした民間食糧支援団体がなかったため、出来ることをしようと集まった母親たちで、令和3年に団体を立ち上げ、3年にわたって食糧支援を行っている。
この活動の 目的(※)	子どもたちが豊かな生活をれるように、子育て世帯を支援する
活動の対象(※)	◎フードパントリー: ひとり親世帯、非課税世帯・生活保護世帯の子育て世帯、減収・病気・被災などで自助だけでは苦しい状況の子育て世帯 ◎こども食堂: 子育て世帯
実施内容	別紙のとおり
活動実施後の 成果	令和3年に設立し4年目を迎え、これまでにフードパントリーを計29回、こども食堂を計7回開催し、延べ1,000人以上の子どもたちに食料の配布を実施した。 令和6年は、フードパントリー8回、こども食堂2回、みんなの食堂1回を開催した。
今後の展望 や新たに 見 えてきた地域 課題	前年に比べ、事業を継続することで食料品の配付の手伝いを申し出してくれるフードパントリーの利用者が増えてきた。今後も継続していくことで、助け合いのコミュニティづくりに取り組んでいきたい。自動車がないと移動が困難な地域であるため、自力で配付会場まで来られない利用者への支援が課題。
寄付者への 一言(※)	おかげで、今年度も子育て支援活動を続けていくことができました。温かいご支援本当にありがとうございました。この地域にいつまでも子どもたちの明るい笑い声が響くよう、頑張っていきます。
自己評価 (いずれかに○ を記入)	A. 目標を超える成果を得ることができた B. ほぼ目標どおりの結果となった C. 残念ながら目標を達成できなかった

※ 申請書から転記いただいて構いません。

「JAバンク茨城子ども食堂応援助成」活動報告書

	D. その他()
自己評価でCを記入された場合、その理由	

※ 欄の大きさは自由に変えていただいて結構ですが、全体で2ページ以内となるようご配慮ください。

※ 活動の様子がわかる写真数枚のデータを別途ご送付ください。

※ その他必要に応じて補足書類をご提出ください。